

授業科目 地域理学療法学概論

科目コード番号

【担当教員名】 牧田光代	対 象 学 年	2	対 象 学 科	理学
	開 講 時 期	後期	必修・選択	必修
	単 位 数	1	時 間 数	30

【概要】

地域リハビリテーション（地域リハ）について理解を深め理学療法士の役割や考え方、実践方法およびその基礎になっている思想について学ぶ。さらに地域リハビリテーションのニーズが近年、高まっているが、その歴史的背景についても学び、現在の状況の理解を深める。

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	標準理学療法学「地域理学療法学」	牧田光代編著	医学書院	2002年10月予定
参考書	生活環境論	木村哲彦監修	医歯薬出版	1999年3月6400円
その他配布資料	プリント			

【評価方法】

小テスト（50％） 期末テスト（50％）

【履修上の留意点】

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

1. 我が国の地域リハの概念と形態を理解し、地域リハにおける理学療法士の役割と連携について理解する。さらに地域、在宅における理学療法の方法についても理解する。
2. リハビリテーションにおける医療機関・施設と地域・在宅の連続性について理解する

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. ノーマライゼーション、CBRについてその内容を把握できる。
2. 日本で地域リハの重要性が認識されてきたこと背景を説明できる。
3. 地域リハを支えるシステムとして関連法規、関連機関の概要を説明できる。
4. 医療モデルと社会モデルの違いを説明できる。
5. ケアマネジメントが何か説明できる。
6. 健康状態の評価として何をどのようにみるか説明できる。
7. 在宅における理学療法において必要な評価を列挙できる。
8. 医療施設以外の施設の特性と理学療法のあり方を説明できる。
9. チームケアとしての理学療法を認識できる。
10. バリアフリーについて説明できる。
11. 自助具、福祉用具について利用法を説明できる。

授業計画

教室 _____

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	地域理学療法概念 ノーマライゼーション CBR	1	牧田光代	講義	
2	歴史的背景 社会的変化にともなう理学療法士の役割の変化	2			
3.	地域リハを支えるシステム 介護保険法	3			
4	身体障害者と福祉法 関連機関と組織 社会資源	3			
5	地域理学療法の展開 在宅障害者の特徴 医療モデルと生活モデル ケアマネジメント 家族の一員、地域住民としての対象者	4, 5			
6	地域における評価 健康状態の捉え方 ADL 評価 家族・周辺環境の評価 ケアアセスメント	5, 6, 7			
7	地域施設における理学療法の実践	8			
8	福祉施設 老健施設				
9	関連諸制度の中での展開 訪問理学療法	8			
10	高齢者への理学療法	8			
11	一般身障への理学療法 小児への理学療法	8			
12	地域における連携のあり方 施設との関わり 保健所・保健センターとの関わり 市町村との関わり	9			
13	生活環境の整備 住宅改修	10, 11			
14	バリアフリー	10, 11			

その他